

告示	番号	42	慢性心疾患
	疾病名	大動脈弁閉鎖不全症	

大動脈弁閉鎖不全症

だいどうみやくべんへいさふぜんしょう

概念・定義

大動脈弁の形成異常により大動脈から左室へ血液が逆流する先天性心疾患。大動脈二尖弁では加齢とともに、大動脈弁閉鎖不全をきたす率が上がってくる。先天性心疾患（例えば、ファロー四徴症、大血管転換症 Jatene 術後など）や結合織病（Marfan 症候群など）に合併することもある。左室容量負荷例では、逆流の進行を防ぐ目的で血管拡張薬が投与される。進行すると、一般的には大動脈弁置換術が行われる。上行大動脈拡大の強い場合には上行大動脈基部置換術(Bentall 手術)の適応となる。

症状

軽症では無症状であるが、進行すると左室容量負荷をきたす。左室拡張の代償機転が破綻すると左室機能が低下し症状が出現する。すなわち労作時の息切れ・呼吸困難といった低心拍出の症状や狭心痛である

治療

左室容量負荷例では、一般的には大動脈弁置換術が行われる。上行大動脈拡大の強い場合には上行大動脈基部置換術(Bentall 手術)の適応となる。逆流の進行を防ぐ目的で血管拡張薬が投与される。心不全に対しては利尿薬などの抗心不全治療が行われる。感染性心内膜炎のハイリスクであり予防が必要である

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_62_93.html